

トムス アルファード フロントグリル

このたびはトムス フロントグリル(以下グリル)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2018年12月)

トヨタ アルファード GGH3#/AGH3#/AYH30 平成29年12月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。本製品はパノミックビューモニター装着車用となります。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.グリル取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.グリル脱落防止のため、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
グリルが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「フロントグリル素地品の塗装手順」を参照の事)
- 4.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 5.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 6.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 7.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 8.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【フロントグリル構成部品】



- ①フロントグリル x1
- ②両面テープ(フロントエンブレム用) x1
- ③アミー式
- ④メッキモール一式(7500mmx1)
- ⑤メッキモール用両面テープ一式
- ⑥ボルト(M5x15) x2
- ⑦ナット(M5) x2
- ⑧カメラ取り付けブラケット
- ⑨M6ボルト

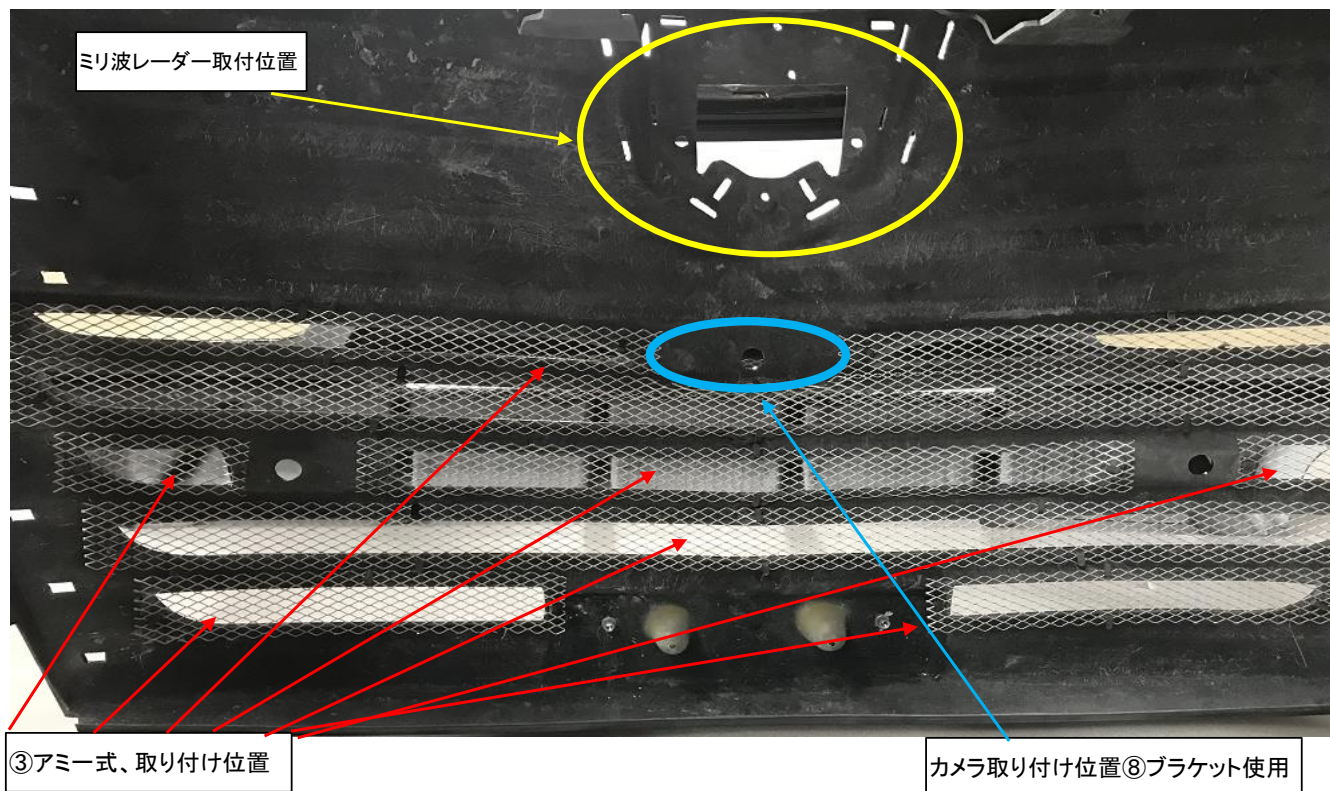
取付要領



- 1.車両から純正グリルを取り外す。
(詳しくはトヨタ自動車㈱発行、整備要領書参考)

- 2.取り外したグリルから各センサー、ハーネス、カメラ、エンブレムを取り外す。

3.2.で取り外したカメラを⑧ブラケット、⑥、⑦ボルト、ナットを使用して①グリルに取り付け、純正のボルトナットを使用しミリ波レーダー本体を取り付け、エンブレムは②両面テープを使用して貼り付ける。

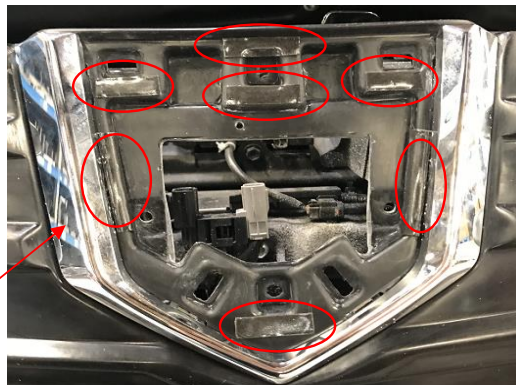


注意！

各種配線類は接着剤(市販品)使用しグリル裏面に接着し、配線が表側側から見えないようにする。配線取り回し時にセンサー、配線等に無理な力がかからないように注意をする。



フロントエンブレム両面テープ貼り付け位置(参考)



4.④メッキモールに⑤メッキモール用両面テープを貼り付け、メッキモールを左図参照に①グリルに貼り付ける。

注意！

貼り付け面を脱脂、プライマー塗布をする事

アドバイス

ドライヤー等で温めながら作業をすると良い。

5.配線、センサー、エンブレム等組付け終えた①グリルを車両へ純正ビスを再使用して取り付ける。

6.再度、車両ビスの閉め忘れが無いかを確認する。

(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL:03-3704-6191
月～金 AM9:00～PM5:00

TOM'S

フロントグリル素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①フロントグリル x1
 - ②両面テープ(フロントエンブレム用) x1
 - ③アミー式
 - ④メッキモール一式(7500mmx1)
 - ⑤メッキモール用両面テープ一式
 - ⑥ボルト(M5x15) x2
 - ⑦ナット(M5) x2
 - ⑧カメラ取り付けブラケット ⑨M6ボルト x2
- ※塗装作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

※塗装参考例

